御嶽山噴火による被害概要 【9月27日(土) 19時00分時点】

岐阜県災害警戒本部 TEL:058-272-1034

第1 被害状況等

1 人的被害・住家被害等の状況

- (1)人的被害
 - ・二の池小屋(長野県)で、男女 2 名がケガをして救助を求め、15:15 サイノ河原小屋で下呂署員と合流。18:40 足場、視界等が悪く、下山出来ない。
- (2) 住家被害 不明

2 県及び市町村の体制等

- (1) 県の体制
 - ○災害警戒本部

9月27日 12:15 災害情報集約センター設置

13:15 岐阜県火山災害警戒本部設置

○災害警戒支部

飛騨振興局

9月27日 13:15 岐阜県火山災害警戒本部飛騨支部設置

合計36名体制→下呂市小坂振興事務所に2名派遣

(2) 市町村の体制

3 その他情報

- ○県警情報
 - ・14:28 五の池小屋に登山客 52 名避難
 - ・15:15 五の池小屋全員が下山開始
 - ・16:38 8名が二の池付近にて救助を求め、五の池へ向かっている
 - ・17:10 五の池小屋にいた 27 名(長野県側入山者)が、濁河登山口に下山完了 マイクロバスで長野県に向けて出発
 - ・18:40 五の池小屋避難者 登山者が 20~30 名(上記の負傷者 2 名を含む)、山 小屋従業員 6 名、下呂市職員 2 名、警察官 3 名。

- ○御嶽高原高地エリア 宿泊情報
 - ・本日74名が宿泊
 - 内訳 下呂市濁河温泉高原スポーツレクレーションセンター 24名 日和田高原ロッジ 50名
 - ・その他 下呂市から、下山出来ない30名ほどが下山した場合、下呂市濁河温泉 高原スポーツレクレーションセンターに宿泊の要請あり

○下呂市役所情報(15:31 現在)

- 13:30 ・五の池小屋 50 人位の登山客(怪我人なし)全員を岐阜県側に下す。
 - ・長野県側からの登山者のため、登山口まで下りた後、バスで長野県側へ 搬送。
- 15:00 ・下呂市役所職員6名が、マスク(180着)、救急用品をもって登山
 - ・登山口・主要なガソリンスタンド等に入山禁止の看板設置
 - ・マイクロバス2台を登山口に準備
- 17:00 濁河温泉宿泊者 (26~27 日にかけて) 96 名。 うち 2 名が、登山に出かけて戻っていない。

○DMAT情報

18:30 高山赤十字病院に待機中のDMAT 1チームが、県からの要請により、 濁河登山口に出動。県内の残りのDMAT 19チームが待機中。